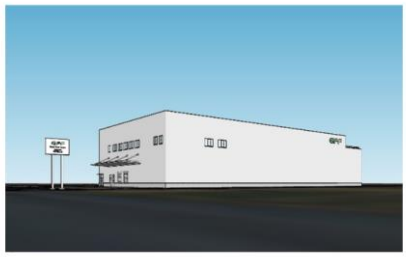
CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	株式会社GFF 本庄児玉工場 増築改修工事	階数	地上2階
建設地	埼玉県児玉郡上里町	構造	S造
用途地域	区域区分非設定、防火指定なし	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,300 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年5月　予定	評価の実施日	2026年5月1日
敷地面積	13,603 ㎡	作成者	株式会社ﾜｲ･ｴﾑ･ｴｰ建築設計事務所 黒坂知美
建築面積	4,620 ㎡	確認日	2026年5月7日
延床面積	7,072 ㎡	確認者	三和建設株式会社 森本享介

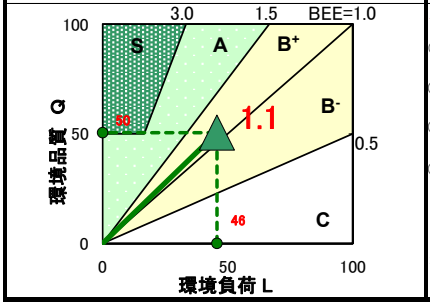
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.1

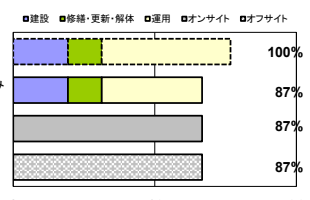
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

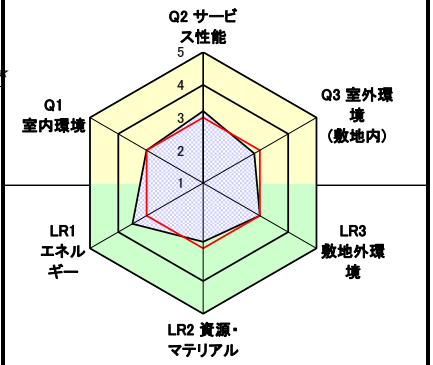
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

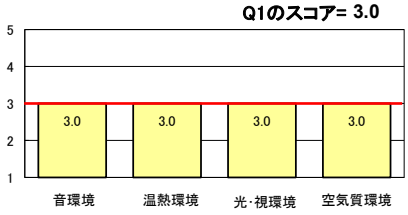
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



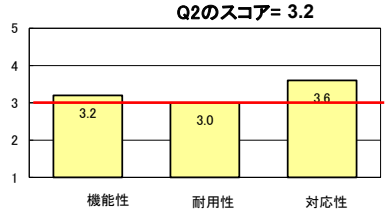
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

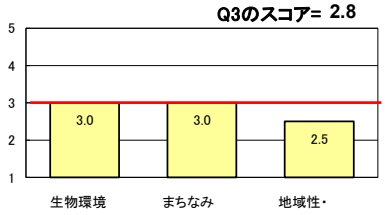
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

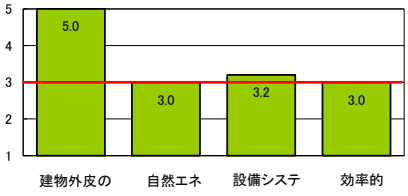


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.8

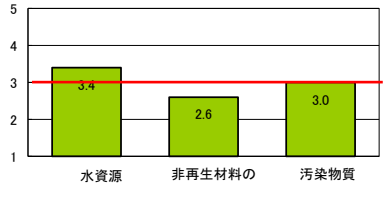


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

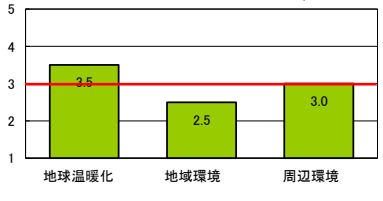
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.5



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.8



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.0



3 設計上の配慮事項

総合

基本理念である、安全・品質・安定。　生産ラインと建築・建築設備との融合。

その他

特になし。

Q1 室内環境

ほぼ全面的にF☆☆☆☆建材を採用した。

Q2 サービス性能

事務室の天井高3.0mとした。

Q3 室外環境（敷地内）

外構緑化率14.29%とした。

LR1 エネルギー

BPIm=0.70とした。

LR2 資源・マテリアル

省水型便器(擬音装置付)を採用した。

LR3 敷地外環境

適切な量の駐車スペースを確保した。荷捌き用駐車スペースを確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産･建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE−建築(新築)2016年版
株式会社GFF 本庄児玉工場 増築改修工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								**3.0**
Q1 室内環境					**0.31**		-	**3.0**
1 音環境				**3.0**	0.15	-	-	**3.0**
1.1 室内騒音レベル				**3.0**	0.40	3.0	-	
1.2 遮音				**3.0**	0.40	-	-	
	1	開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
	2	界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	-	-	
1.3 吸音				**3.0**	0.20	-	-	
2 温熱環境				**3.0**	0.35	-	-	**3.0**
2.1 室温制御				**3.0**	0.50	-	-	
	1	室温		3.0	0.38	-	-	
	2	外皮性能		3.0	0.25	-	-	
	3	ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				**3.0**	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				**3.0**	0.25	-	-	**3.0**
3.1 昼光利用				**3.0**	0.30	-	-	
	1	昼光率		3.0	0.60	-	-	
	2	方位別開口		-	-	-	-	
	3	昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				**3.0**	0.30	-	-	
	1	昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度				**3.0**	0.15	-	-	
3.4 照明制御				**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境				**3.0**	0.25	-	-	**3.0**
4.1 発生源対策				**3.0**	0.50	-	-	
	1	化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
4.2 換気				**3.0**	0.30	-	-	
	1	換気量		3.0	0.33	-	-	
	2	自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
	3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				**3.0**	0.20	-	-	
	1	CO_2の監視		3.0	0.50	-	-	
	2	喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				−	**0.30**	-	-	**3.2**
1 機能性				**3.2**	0.40	-	-	**3.2**
1.1 機能性・使いやすさ				**3.0**	0.40	-	-	
	1	広さ・収納性		3.0	0.50	-	-	
	2	高度情報通信設備対応		3.0	0.50	-	-	
	3	バリアフリー計画		-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性				**3.6**	0.30	-	-	
	1	広さ感・景観	事務室の天高3.0m。広い開口部を設けている。（平面図）	5.0	0.33	-	-	
	2	リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
	3	内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				**3.0**	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				**3.0**	0.30	-	-	**3.0**
2.1 耐震・免震・制震・制振				**3.0**	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				**3.0**	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				**3.0**	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		**3.6**	0.30	-	-	**3.6**
3.1 空間のゆとり		**5.0**	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高6.7mとしている。(断面図)	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.100。(伏せ図)	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		**3.0**	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性		**3.0**	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		—	**0.39**	-	-	**2.8**
1 生物環境の保全と創出		**3.0**	0.30	-	-	**3.0**
2 まちなみ・景観への配慮		**3.0**	0.40	-	-	**3.0**
3 地域性・アメニティへの配慮		**2.5**	0.30	-	-	**2.5**
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		**3.0**	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		**2.0**	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	**3.1**
LR1 エネルギー		—	**0.40**	-	-	**3.5**
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.70	**5.0**	0.20	-	-	**5.0**
2 自然エネルギー利用		**3.0**	0.10	-	-	**3.0**
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.78	**3.2**	0.50	-	-	**3.2**
4 効率的運用		**3.0**	0.20	-	-	**3.0**
集合住宅以外の評価		**3.0**	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		—	**0.30**	-	-	**2.8**
1 水資源保護		**3.4**	0.20	-	-	**3.4**
1.1 節水	省水型機器を選択。(設備図)	**4.0**	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		**3.0**	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		**2.6**	0.60	-	-	**2.6**
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	事務室などOAフロア採用。(仕上表)	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		**3.0**	0.20	-	-	**3.0**
3.1 有害物質を含まない材料の使用		**3.0**	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		**3.0**	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		—	**0.30**	-	-	**3.0**
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率87%	**3.5**	0.33	-	-	**3.5**
2 地域環境への配慮		**2.5**	0.33	-	-	**2.5**
2.1 大気汚染防止		**3.0**	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		**2.0**	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		**3.2**	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	一般駐車場の他荷捌きスペースの設置。出入口の分散。(配置図)	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		**3.0**	0.33	-	-	**3.0**
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		**3.0**	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		**3.0**	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-		
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		**3.0**	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県　重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン	CASBEE埼玉県2016年版

1　建物概要

建物名称	株式会社GFF 本庄児玉工場 増築	BEE	1.1	BEEランク	★★★

2　重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア　緑の保全・創出のスコア

3.5 ＋ 2.3 ＝ 5.8



重点項目の各スコアーの合計点

がんばろう	良い	非常によい	すばらしい
6.0未満	6.0以上	6.8以上	8.0以上
			

3　重点項目についての環境配慮概要

（1）ライフサイクルCO2の削減　　スコア平均　3.5

＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞

LR3　敷地外環境対策	1．地球温暖化への配慮	スコア	3.5

＜配慮した内容を記述＞　ライフサイクルCO2排出率を87%としている。

（2）緑の保全・創出　　スコア平均　2.3

＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞

Q3　室外環境（敷地内）	1．生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3　室外環境（敷地内）	3．2　敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3　敷地外環境	2．2　温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

＜配慮した内容を記述＞　建物配置を敷地境界からセットバックした位置とし、道路境界沿いには植栽を設けることで、街並みへの圧迫感軽減と緑のある街並み創出に努めた。

：入力欄